

永平寺の子どもたち

永平寺町教育委員会
平成29年11月11日

平成29年4月、全国学力・学習状況調査が小学6年と中学3年の児童・生徒を対象に実施されました。本年度実施された全国学力・学習状況調査における永平寺の子どもたちの調査結果の概要をお知らせし、子ども一人一人の成長のために、各家庭で参考にさせていただくためにまとめた資料です。

永平寺町内小・中学校では、今後も児童・生徒が主体的に課題解決する場面を多く設定したり、読書に親しみを持たせたりする取り組みを、さらに充実させていきます。

ご家庭におかれましても、子どもの生活・学習習慣をよりよいものにするために、「家庭実践項目A～F」の取り組みを進めていただければ幸いです。

【調査の概要】

1. 調査日時 平成29年4月18日(火)
2. 調査の対象 小学6年生(町内7校 181名)、中学3年生(町内3校 186名)
3. 調査の内容

(1) 教科に関する調査

- 主として「知識」に関する問題(国語A、算数・数学A)
 - ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
 - ・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
- 主として「活用」に関する問題(国語B、算数・数学B)
 - ・知識、技能等を実生活の様々な場面に活用する力に関わる内容
 - ・様々な課題解決するための構想を立て、実践し、評価・改善する力に関わる内容

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

- 児童、生徒への質問紙調査
 - ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

【教科に関する調査結果】

<各教科全体における町平均正答率と全国・県平均正答率との比較>

※ 3%差を基準にして $3 \leq \odot$ 、 $0 \leq \bigcirc < 3$ 、 $-3 < \triangle < 0$ 、 $-3 \geq \blacktriangle$

小学校	国語A	国語B	算数A	算数B
全国比	◎	○	◎	◎
福井県比	○	○	○	○

中学校	国語A	国語B	数学A	数学B
全国比	◎	◎	◎	◎
福井県比	○	◎	○	○

小学校では、全ての教科において、全国・県よりも平均正答率が高い結果となりました。

中学校では、全ての教科において、全国よりも平均正答率が3%以上高い結果となりました。また、県と比較でもすべての教科で平均正答率が高い結果となりました。

家庭・地域・学校のさらなる連携を

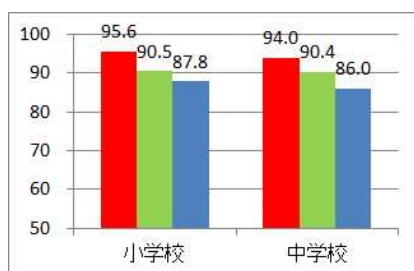
「ふるさと永平寺町を誇りに思える 魅力ある学校づくりをめざして」を永平寺町学校教育方針に掲げ、『「礼の心」を重んじ、夢や希望を持って粘り強く学び、行動力のある児童生徒の育成』を重点努力目標として、学校で、家庭で、地域で、いろいろな活動に取り組んでいただいています。

特に、町内小中学校ではお互いを認め、褒め合うことで、自信と行動力を身につけ、地域を学ぶことで、ふるさと永平寺町を愛するなど人間教育の育成を第一に取り組んでいます。「豊かな心」を基盤として、「確かな学力」の育成と「健やかな体」の育成を図っています。

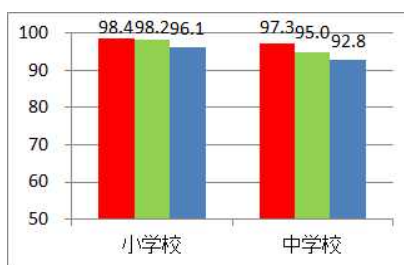
■ 永平寺町 ■ 福井県 ■ 全国

実践A 思いやりや感謝の心で「温かみのある人間関係力」を育てましょう

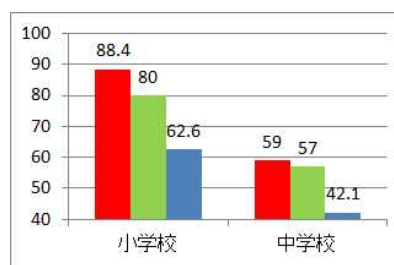
A1. みんなで協力してやりとげうれしかったことがある



A2. いじめはどんな理由があってもいけないこと



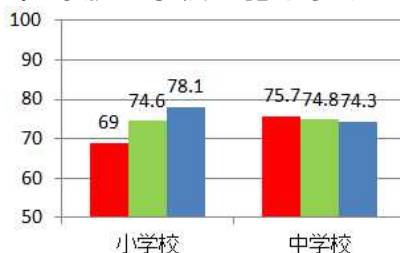
A3. 地域の行事に参加する



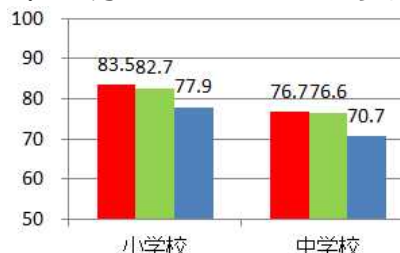
永平寺町の児童生徒は、誠実で思いやりがあり、人のために役立つことが好きな児童生徒が多いのが特徴です。また、学校行事など心をつなぐ取り組みが好きなようです。

実践B 家族との時間を大切にしましょう。

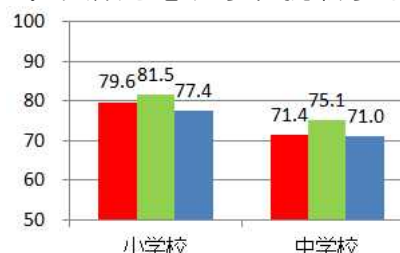
B1. 家族と学校の話をする



B2. 自分によいところがある



B3. 失敗を恐れず、挑戦する



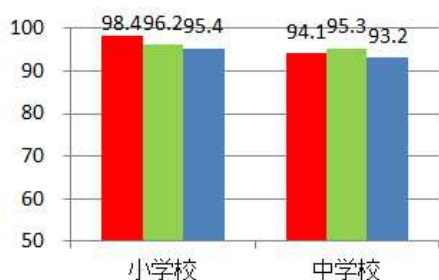
一人一人の子どもには一人一人違った可能性があります。その可能性を引き出せるのは、認め支えてくれる家族だと思います。

ご家庭での夕食や家事の手伝いの時間を大切にし、その中で子どもたちのがんばりを認めたり、励ましたり、ほめたりといった温かなふれあいが必要になってきます。そして、保護者が自分自身の経験を語ったり、子どもの夢や目標について耳を傾けたりして、子どもの心を支えるふれあいの時間を積極的に作りましょう。

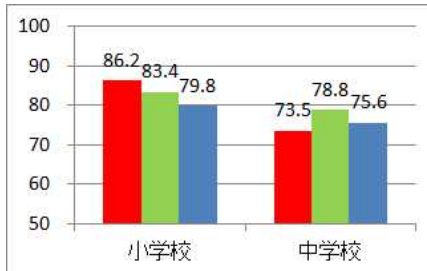
また、コミュニケーション能力は今後より一層必要になります。

実践C 生活のリズムを整えましょう。

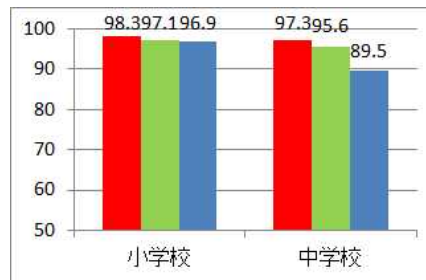
C1. 朝食を毎日食べている



C2. 同じ時刻に寝ている



C3. 家で宿題をしている



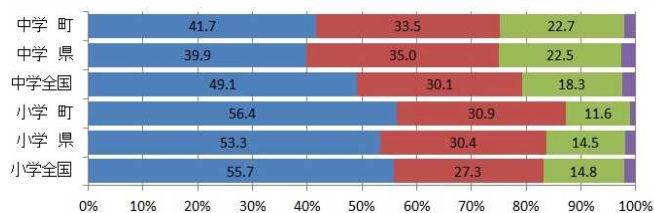
1日の生活のリズムを整えることは、学習時の集中力を高め、学力向上を図るうえで大切な基盤となります。子どもたち自らがバランスのよい生活を送ることができるように、学校では教職員が、家庭では保護者が子どもたちを支えていきましょう。

実践D 学習習慣を身につけましょう。

町内小・中学生には、宿題にしっかり取り組む子どもたちが多く、その後、テレビなどを視聴しているようです。

中学生は、平日・休日ともに家庭学習の時間が多くなっています。小学校5～6年生から中学校1年生へのスムーズな移行のためにも、家庭における学習や1日の生活について話し合い、家庭での学習習慣をしっかり身につけさせましょう。

D1. 1日のテレビやビデオ・DVD視聴時間
 ■ 2時間以上 ■ 1時間以上2時間未満
 ■ 1時間未満 ■ 全くしない



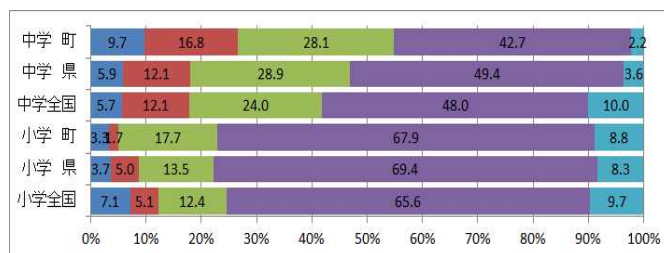
D2. 授業時間以外の平日の勉強時間

■ 3時間以上 ■ 2～3時間
 ■ 1～2時間 ■ 1時間未満 ■ しない



D3. 学校が休みの日の勉強時間

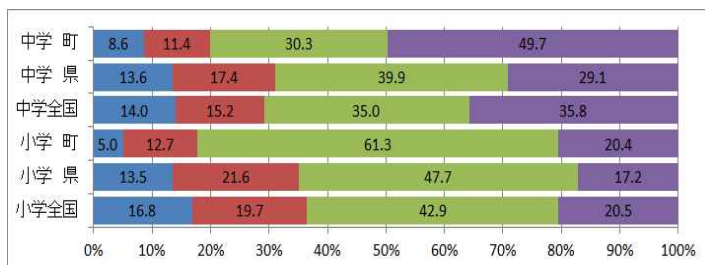
■ 3時間以上 ■ 2～3時間
 ■ 1～2時間 ■ 1時間未満 ■ しない



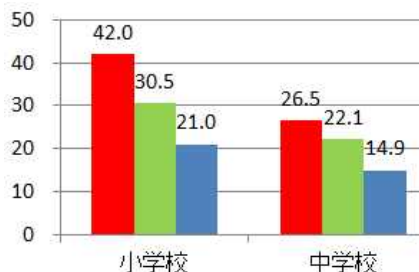
実践E 読書の時間を確保し、本に親しみましょう。

E1. 1日の学校以外での読書時間

■ 1時間以上 ■ 30分～1時間
 ■ 30分未満 ■ 全くしない



E2. 新聞を読んでいる。



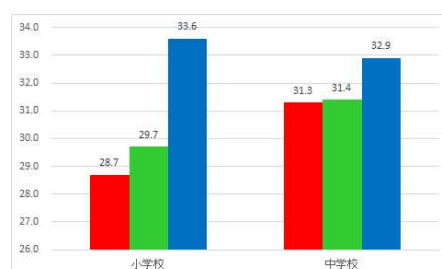
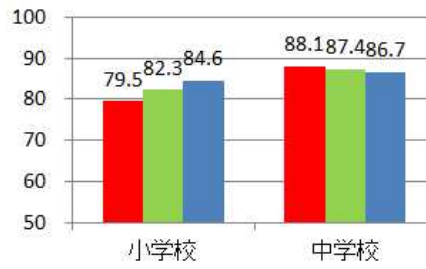
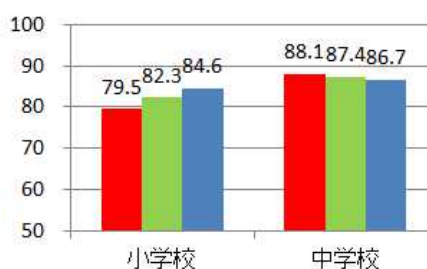
読書をする割合は、低くなっています。文章を読むことは、語彙力を高め、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにします。そして、学力の基礎となります。幼いときに読書習慣を身につけることは重要です。小中学生にとっては、将来の夢や目標を考える上で、読書は大切なものです。休日の時間の過ごし方に、親子読書の時間を取り入れてみましょう。

実践F これからの社会を創り出していく子どもたち

F1. ニュースをみている

F2. 外国のことをもっと知りたい

F3. 留学、国際的な仕事をしたい



ご家庭でも、お子さんと話し合う機会を持っていただき、永平寺町のすべての子どもたちが、心豊かで明るく健やかに成長していけるよう、家庭・地域・学校のさらなる連携をお願いいたします。

< 評価の観点別の町平均正答率と全国・県平均正答率との比較 >

※ 3%差を基準にして 3 ≤ ◎、0 ≤ ○ < 3、-3 < △ < 0、-3 ≥ ▲

小学校 国語A	全国比	福井県比
関心・意欲・態度		
話す・聞く能力	○	◎
書く能力	◎	○
読む能力	◎	○
知識・理解・技能	◎	○

中学校 国語A	全国比	福井県比
関心・意欲・態度		
話す・聞く能力	◎	○
書く能力	◎	○
読む能力	◎	◎
知識・理解・技能	◎	○

小学校 国語B	全国比	福井県比
関心・意欲・態度	◎	△
話す・聞く能力	○	△
書く能力	◎	△
読む能力	◎	○
知識・理解・技能		

中学校 国語B	全国比	福井県比
関心・意欲・態度	◎	◎
話す・聞く能力	◎	○
書く能力	◎	◎
読む能力	◎	◎
知識・理解・技能	◎	◎

小学校 算数A	全国比	福井県比
数量や図形の技能	◎	△
知識・理解	◎	○

中学校 数学A	全国比	福井県比
数学的な技能	◎	○
知識・理解	◎	○

小学校 算数B	全国比	福井県比
数学的な考え方	◎	○
数量や図形の技能		
知識・理解	◎	○

中学校 数学B	全国比	福井県比
数学的な考え方	◎	○
数学的な技能	◎	○
知識・理解	◎	○

【3年間の学びの推移】

(平成29年中学3年生の小学校6年生からの伸び)

< 平成26年度【小学校時】から平成29年度【中学校時】への成績の推移 >

※ 3%差を基準にして 3 ≤ ◎、0 ≤ ○ < 3、-3 < △ < 0、-3 ≥ ▲

H26 小学校	国語A	国語B	算数A	算数B	H29 中学校	国語A	国語B	数学A	数学B
全国比	◎	◎	◎	◎	全国比	◎	◎	◎	◎
福井県比	○	○	○	○	福井県比	○	◎	○	○

平成26年度調査と29年度調査を比較すると、小学校6年4月から中学校3年4月までの3年間で、小学校から中学校への学びのつながりが確実に結果となって表れています。

